

2018年12月27日

各 位

株式会社 関西みらいフィナンシャルグループ
株式会社 みなと銀行

「兵庫県内中小企業の景況調査(2018年10月～12月期)」の実施について

関西みらいフィナンシャルグループのみなと銀行（頭取 服部博明）は、兵庫県内のお取引先中小企業のご協力を得て、県内中小企業の景況調査（2018年10月～12月期）を実施しましたので、調査結果をお知らせします。

本調査は、みなと銀行の県下全域にわたる支店ネットワークを活用し、地元中小企業の皆さまが実際に肌で感じておられる景況感などを幅広く把握し、地域金融機関としてお役に立つ情報を発信していくことを目指して、2010年11月より実施しているものです。

今後についても、四半期毎に実施し、地域の皆さまのご意見、ご判断をより反映した調査となるよう努めてまいります。

■景況調査の概要

実施時期	2018年11月
調査対象	兵庫県内に本社を置くみなと銀行のお取引先中小企業 対象先：1,882先、うち有効回答：1,423先 (有効回答率 75.6%)
実施要領	原則、お客さまからの直接聞き取り
質問事項	景況感、売上、経常利益などに関する判断D I等

調査結果の概要と詳細は、別紙の通りです。ご参照下さい。

以 上

兵庫県内中小企業の景況調査 (2018年10月～12月期)

- 調査方法等 2018年11月
- 調査時点 兵庫県内に本社を置くみなと銀行の取引先企業
- 調査対象 訪問(聞き取り)によるアンケート調査
- 調査方法 1882社
- 依頼先数 1423社(有効回答率75.6%)
- 有効回答数

【業種】	社数	構成比(%)
製造業	388	27.3
建設業	226	15.9
卸売業	213	15.0
小売業	98	6.9
不動産業	198	13.9
運輸業	68	4.8
宿泊・飲食業	24	1.7
医療・福祉	41	2.9
サービス業	110	7.7
その他	47	3.3
非製造業	1,025	72.0
無回答	10	0.7
合計	1,423	100.0

【従業員数】	社数	構成比(%)
5名以下	179	12.6
6～10名	174	12.2
小計	353	24.8
11～20名	242	17.0
21～50名	371	26.1
51～100名	203	14.3
小計	816	57.3
101～200名	124	8.7
201名以上	104	7.3
小計	228	16.0
無回答	26	1.8
合計	1,423	100.0

※ DI (Diffusion Index)
景況判断DI = 「良い」と回答した企業の割合 - 「悪い」と回答した企業の割合

調査 みなと銀行 集計・分析 ひょうこ経済研究所

【調査結果】

- 中小、中堅製造業の景況判断が上向き、前回調査の見通し(1.1ポイ改善)を上回る1.5ポイの改善幅となった。前回は9四半期ぶりに悪化し、調査後に発生した台風21号の影響で一段の景況悪化が心配されたが、物流等への影響は軽微にとどまり、製造業、非製造業とも販売数量の伸びが売上高を押し上げ、景況判断の改善につながった。
- 雇用判断は、「不足」とする企業が4社に1社にのぼる状況が続いており、人件費の上昇や受注調整の実施など影響が出ている。
- 消費税の軽減税率制度に関して、情報、人員などの不足を理由に半数近くの企業が準備に取り掛かっておらず、対応が遅れ気味である。
- 今後の見通しは、0.4ポイの小幅な改善で、米中貿易摩擦や人手不足などの影響を懸念する向きもあり、慎重な予想となっている。

1 景況判断

前回悪化した、すぐ改善

『全産業』は1.5ポイ改善の5.9と、1四半期で改善した。

2 売上高判断

製造業、非製造業とも改善

『全産業』では17.1となり0.6ポイ改善した。『製造業』、『非製造業』とも販売数量の判断が改善し、販売単価は悪化した。業種別では小売、運輸、宿泊・飲食業が大幅に悪化した。地域別では淡路地域が7.1となり、3四半期ぶりに全地域の判断指数がプラスとなった。先行きは、『製造業』は改善、『非製造業』は悪化を見込む。

『製造業』は中小および中堅企業が改善基調を維持する一方で、小規模企業は3四半期連続で悪化しており、企業規模による差が広がっている。

『非製造業』は建設、不動産、医療・福祉などが改善し、全体では0.7ポイ改善した。

地域別では阪神地域で建設業がけん引して7.3ポイ改善、播磨地域は8期連続改善と好調である。

先行きは『製造業』が改善、『非製造業』は横ばいを予想している。

3 経常利益判断

製造業は改善、非製造業は悪化

『全産業』では0.8ポイの小幅悪化。『製造業』、『非製造業』とも中堅企業が大幅に悪化した。業種別では建設、小売、宿泊・飲食、サービス業が悪化、他は改善した。地域別では、淡路地域は製造、卸売業がけん引して大幅に(15.4ポイ)改善したが、他の4地域は悪化した。先行きは、『製造業』、『非製造業』ともやや悪化し、全体では0.6ポイの悪化を見込む。

項目	1. 景況判断			2. 売上高判断			(販売数量)		(販売単価)		3. 経常利益判断		
	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[前回]	[今回]	[前回]	[今回]	[見通し]
	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月	2018年7～9月	2018年10～12月	2018年7～9月	2018年10～12月	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月
全産業	4.4	5.9	6.3	16.5	17.1	16.7	13.6	15.1	7.7	5.4	11.0	10.2	9.6
小規模企業	▲2.7	▲0.9	0.6	9.1	10.8	13.3	3.6	7.7	7.3	4.3	5.0	4.5	2.9
中小企業	5.1	7.2	6.2	17.4	19.5	17.0	14.6	17.8	6.7	6.3	11.2	12.6	11.2
中堅企業	12.0	12.3	17.2	24.1	19.7	22.0	24.1	16.8	12.1	5.4	19.0	10.6	14.7
製造業	5.9	9.6	11.1	18.2	19.8	20.9	16.4	18.5	7.5	4.2	12.0	12.9	12.4
小規模企業	▲8.3	▲10.7	7.1	0.0	7.1	21.4	▲8.3	10.7	▲8.3	3.7	0.0	3.6	7.1
中小企業	4.5	8.4	6.9	16.7	20.5	19.8	15.7	18.3	6.3	3.1	9.0	13.3	11.4
中堅企業	13.7	20.9	25.0	27.7	23.9	25.0	24.7	23.6	15.1	7.8	24.2	15.2	19.8
非製造業	3.8	4.5	4.5	15.9	16.1	15.0	12.4	13.7	7.8	5.9	10.7	9.2	8.3
小規模企業	▲2.2	0.0	0.0	9.9	11.1	12.6	4.6	7.4	8.6	4.4	5.8	4.6	2.5
中小企業	5.3	6.8	5.9	17.7	19.2	15.8	14.1	17.7	6.9	8.0	12.2	12.4	11.2
中堅企業	10.9	6.6	11.9	21.7	16.9	20.0	23.7	12.2	10.0	15.4	7.4	11.3	

4 仕入価格判断

4社に1社が上昇
『全産業』の判断は24・7と3・4ポイント上昇。26・5%の企業が「上昇」と回答した。

小規模製造業は39・3となり、前回調査とは一転して2・6ポイント上昇した。業種別では宿泊・飲食業が大幅に低下したが、他は総じて上昇した。

5 生産判断（製造業のみ）

2・4ポイント上昇

全体判断は2・4ポイント上昇の23・5で、「増加」した企業は31・6%と3社に1社にのぼる。

規模別では小規模、中小企業が上昇し、中堅企業は低下した。地域別では神戸地域のみ大幅（15・1ポイント）に上昇した。

6 在庫判断

過剰感は横ばい

9割超の企業は「適正」と判断している。

『全産業』では前期比横ばいの▲0・7と、少し過剰感がある。『製造業』は過剰感が弱まった一方、『非製造業』は不足から過剰に転じた。業種別では小売業が▲8・2と少し過剰感がある。

7 資金繰り判断

小規模製造業が大幅に悪化

「楽である」もしくは「普通」が大半（94・2%）を占め、「苦しい」はわずかである。

『全産業』では0・2ポイント改善した。『製造業』は小規模企業が大幅に悪化し、全体では4・1ポイント悪化した。『非製造業』は卸売、小売、運輸業などが良好し、全体では2・1ポイント改善した。

項目	4. 仕入価格判断			5. 生産（製造業のみ）			6. 在庫判断			7. 資金繰り判断			8. 雇用判断			9. 設備投資判断		
	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[見通し]
	2018年 7～9月	2018年 10～12月	2019年 1～3月	2018年 7～9月	2018年 10～12月	2019年 1～3月	2018年 7～9月	2018年 10～12月	2019年 1～3月	2018年 7～9月	2018年 10～12月	2019年 1～3月	2018年 7～9月	2018年 10～12月	2019年 1～3月	2018年 7～9月	2018年 10～12月	2019年 1～3月
全産業	21.3	24.7	22.0	—	—	—	▲0.7	▲0.7	0.7	6.7	6.9	5.5	25.9	25.5	24.4	7.2	8.5	7.3
小規模企業	22.1	23.3	21.2	—	—	—	2.8	0.6	3.0	▲1.8	▲1.1	▲3.8	16.5	13.7	13.9	2.4	3.2	2.9
中小企業	21.5	25.4	21.8	—	—	—	▲1.9	▲1.3	0.0	7.8	8.5	7.2	28.2	28.4	26.6	8.6	9.5	6.6
中堅企業	19.0	25.3	24.6	—	—	—	▲0.9	▲0.5	0.5	14.5	15.4	15.0	31.2	34.6	33.3	9.3	13.6	16.7
製造業	24.3	29.7	25.7	21.1	23.5	21.4	▲4.9	▲1.8	▲1.6	9.8	5.7	4.7	28.0	28.2	25.9	11.8	13.4	10.4
小規模企業	16.7	39.3	29.6	0.0	8.3	16.7	▲8.3	0.0	0.0	12.5	▲17.9	▲7.1	16.7	14.3	17.9	4.2	▲3.6	▲3.6
中小企業	25.3	29.3	25.2	19.0	23.3	19.4	▲4.2	▲1.9	▲1.9	6.6	4.5	2.7	26.7	29.3	26.0	11.8	14.4	9.9
中堅企業	23.2	28.3	26.1	32.6	30.3	29.2	▲6.3	▲1.1	0.0	18.9	17.6	15.4	34.7	29.3	28.3	13.7	16.3	16.3
非製造業	19.9	22.9	20.7	—	—	—	1.3	▲0.3	1.7	5.4	7.5	5.9	25.1	24.6	23.8	5.4	6.6	6.1
小規模企業	22.3	21.9	20.5	—	—	—	4.1	0.7	3.3	▲2.9	0.3	▲3.5	16.6	13.6	13.5	2.3	3.8	3.5
中小企業	19.6	23.7	20.3	—	—	—	▲0.7	▲1.0	1.0	8.4	10.3	9.3	28.9	28.0	27.0	7.0	7.2	5.0
中堅企業	16.0	23.3	23.5	—	—	—	3.4	0.0	0.8	11.5	14.0	14.7	28.8	38.2	36.8	6.1	11.8	16.9

8 雇用判断

不足感の強い状況が続く
『全産業』の判断は25・5と不足感の強い状況が続いている。建設業では4割超が「不足」としており、受注を調整する動きがある。

9 設備投資判断

小規模製造業が低下

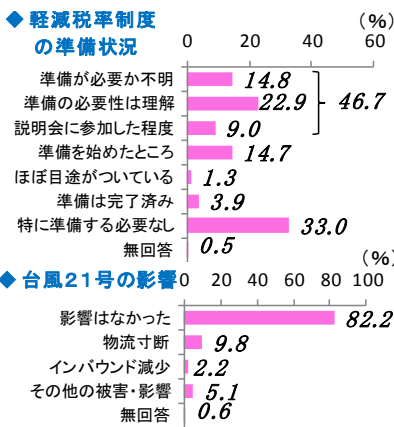
『全産業』は1・3ポイント上昇の8・5であったが、小規模製造業の低下が目立った。『非製造業』には事業所新設、新事業参入等のための投資を行った企業がある。

◆消費税の軽減税率制度の準備状況

「準備が必要か不明」など「準備に取り掛かっていない」企業は46・7%と半数近くにのぼった。その理由は「知識・情報の不足」と「時間・人員の不足」がいずれも4割を超える。

◆台風21号による関西国際空港閉鎖等の影響

「影響はなかった」が82・2%と大半だった。影響を受けた企業の今後の対策は、「災害保険」が17・6%、「拠点分散」が16・8%となっている。



【トピックス】2019年を表す漢字

順位	1	2	3	4	5	6	7
漢字	進	変	新	改	安	明	挑
件数	58	49	48	41	39	32	21
						21	21
							21
							21

上位3つの「進」「変」「新」は昨年と同じ順位。新しい時代を意識して、「改」が昨年の13位から大きく順位を上げた。

兵庫県内中小企業の景況調査

(2018年10月～12月期)

〔目 次〕

I. 調査方法等	1
II. 調査結果の概要	2
III. 個別項目の動向	
1. 景況判断	3
2. 売上高判断	5
3. 経常利益判断	6
4. 仕入価格判断	7
5. 生産判断（製造業のみ）	8
6. 在庫判断	9
7. 資金繰り判断	10
8. 雇用判断	11
9. 設備投資判断	12
◆ 消費税の軽減税率制度の準備状況について	13
◆ 台風21号による関西国際空港の閉鎖等の影響について	15
◆ トピックス 2019年を表す漢字	17
IV. 【参考】 景況判断の内訳明細	18

本調査に関する問い合わせ先
みなと銀行 企画部広報室(担当:藤井)
TEL 大代表(078)331-8141
直通 (078)333-3247

I. 調査方法等

- ◆調査時点 2018年11月
- ◆調査対象 兵庫県内に本社を置くみなと銀行の取引先企業
- ◆調査方法 訪問(聞き取り)によるアンケート調査
- ◆依頼先数 1,882社
- ◆有効回答数 1,423社(有効回答率75.6%)
- ◆集計・分析 ひょうご経済研究所

〔回答企業の内訳〕

【所在地】	社数	構成比(%)
神戸地域	450	31.6
阪神地域	360	25.3
播磨地域	457	32.1
但馬・丹波地域	57	4.0
淡路地域	99	7.0
無回答	0	0.0
合計	1,423	100.0

神戸地域・・・神戸市
 阪神地域・・・尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、川辺郡(猪名川町)
 播磨地域・・・姫路市、明石市、相生市、加古川市、赤穂市、西脇市、三木市、高砂市、小野市、加西市、宍粟市、加東市、たつの市、多可郡(多可町)、加古郡(稲美町、播磨町)、揖保郡(太子町)、赤穂郡(上郡町)、神崎郡(市川町、福崎町、神河町)、佐用郡(佐用町)
 但馬・丹波地域・・・篠山市、丹波市、豊岡市、養父市、朝来市、美方郡(香美町、新温泉町)
 淡路地域・・・洲本市、南あわじ市、淡路市

【業種】	社数	構成比(%)	
製造業	388	27.3	
非製造業	建設業	226	15.9
	卸売業	213	15.0
	小売業	98	6.9
	不動産業	198	13.9
	運輸業	68	4.8
	宿泊・飲食業	24	1.7
	医療・福祉	41	2.9
	サービス業	110	7.7
その他	47	3.3	
非製造業	1,025	72.0	
無回答	10	0.7	
合計	1,423	100.0	

【資本金】	社数	構成比(%)
500万円以下	124	8.7
500万円超～1千万円以下	416	29.2
1千万円超～2千万円以下	240	16.9
2千万円超～3千万円以下	145	10.2
3千万円超～5千万円以下	237	16.7
5千万円超～1億円以下	178	12.5
1億円超	54	3.8
無回答	29	2.0
合計	1,423	100.0

【従業員数】	社数	構成比(%)	
小規模企業	5名以下	179	12.6
	6～10名	174	12.2
	小計	353	24.8
中小企業	11～20名	242	17.0
	21～50名	371	26.1
	51～100名	203	14.3
	小計	816	57.3
中堅企業	101～200名	124	8.7
	201名以上	104	7.3
	小計	228	16.0
無回答	26	1.8	
合計	1,423	100.0	

〔各種判断DIについて〕

※ DI (Diffusion Index)

【例】景況判断DI = 「良い」と回答した企業の割合(%) - 「悪い」と回答した企業の割合(%)

II. 調査結果の概要

- ・中小、中堅製造業の景況判断が上向き、前回調査の見通し（1.1ポイント改善）を上回る1.5ポイント改善幅となった。前は9四半期ぶりに悪化し、調査後に発生した台風21号の影響で一段の景況悪化が心配されたが、物流等への影響は軽微にとどまり、製造業、非製造業とも販売数量の伸びが売上高を押し上げ、景況判断の改善につながった。
- ・雇用判断は、「不足」とする企業が4社に1社にのぼる状況が続いており、人件費の上昇や受注調整の実施など影響が出ている。
- ・消費税の軽減税率制度に関して、情報、人員などの不足を理由に半数近くの企業が準備に取り掛かっておらず、対応が遅れ気味である。
- ・今後の見通しは、0.4ポイントの小幅な改善で、米中貿易摩擦や人手不足などの影響を懸念する向きもあり、慎重な予想となっている。

景況判断 DI は1.5ポイント改善の5.9
先行きは0.4ポイント改善の6.3

項目	最近3ヵ月 〔2018年10月～12月〕	今後3ヵ月 〔2019年1月～3月〕
景況判断 「良い」－「悪い」	・全産業では5.9と2四半期ぶりに改善。 ・製造業、非製造業とも改善。 ・小規模・中小・中堅企業、いずれも改善。	・全産業では0.4ポイントの改善予想。 ・製造業は改善、非製造業は横ばいを見込む。
売上高判断 (前年同期比) 「増加」－「減少」	・全産業では0.6ポイント改善の17.1。 ・製造業、非製造業とも販売数量が改善、販売単価は悪化。	・全産業では0.4ポイントの悪化予想。 ・製造業は改善、非製造業は悪化を見込む。
経常利益判断 (前年同期比) 「増加」－「減少」	・全産業では0.8ポイント悪化の10.2。 ・製造業は改善、非製造業は悪化。いずれも中堅企業が大幅に悪化。	・全産業では0.6ポイントの悪化予想。 ・製造業、非製造業とも悪化すると予想。いずれも中堅企業は改善を見込む。
仕入価格判断 「上昇」－「低下」	・全産業では3.4ポイント上昇の24.7。 ・「上昇」した企業は26.5%で4社に1社。 ・小規模製造業が大幅に上昇。	・全産業では2.7ポイントの低下を見込む。 ・製造業、非製造業とも低下すると予想。
生産判断 【製造業のみ】 「増加」－「減少」	・製造業全体では2.4ポイント上昇の23.5。 ・小規模、中小企業が上昇、中堅企業は低下。	・製造業全体では2.1ポイントの低下予想。 ・小規模企業は上昇、中小、中堅企業は低下を見込む。
在庫判断 「不足」－「過剰」	・全産業では過剰感は横ばいの▲0.7。 ・「適正」とする企業が9割超と大半。 ・小売業が▲8.2と少し過剰感がある。	・全産業では0.7と不足に転じると予想。 ・今後とも「適正」とする企業が多い。
資金繰り判断 「楽である」 －「苦しい」	・全産業では0.2ポイント改善の6.9。 ・「楽」もしくは「普通」が大半(94.2%)を占め、「苦しい」はわずかである。	・全産業では1.4ポイントの悪化予想。 ・製造業、非製造業とも悪化すると予想。
雇用判断 「不足」－「過剰」	・全産業では25.5と不足感は強い。 ・建設業で4割超が「不足」とする状況が続いている。	・全産業では24.4と不足感は1.1ポイント低下すると予想。 ・製造業、非製造業とも低下を見込む。
設備投資判断 「増加」－「減少」	・全産業では1.3ポイント上昇の8.5。 ・製造業は小規模企業が7.8ポイント低下の▲3.6となり、規模による格差が広がった。	・全産業では1.2ポイントの低下予想。 ・製造業、非製造業とも低下を見込む。
軽減税率制度 の準備状況 について	・「準備の必要性は理解しているが、まだ何もしていない」が22.9%など、「準備に取り掛かっていない」企業は46.7%と半数近くにのぼった。その理由は、「知識・情報の不足」が41.4%、「取り組む時間・人員の不足」が41.0%といずれも4割を超える。	
台風21号の 影響について	・「影響はなかった」が82.2%と大半だった。物流寸断など「影響を受けた」企業は17.1%で、それらの企業の今後の対策は、「災害保険」が17.6%、「拠点分散」が16.8%。	

Ⅲ. 個別項目の動向

1. 景況判断

(1) 最近3ヵ月 [2018年10月~12月]

全産業・・・最近3ヵ月の景況判断DI(「良い」-「悪い」)は、1.5ポイント改善の5.9と、1四半期で改善した。

業種別・・・『製造業』は3.7ポイント改善の9.6。中小および中堅企業が改善基調を維持する一方で、小規模企業は3四半期連続で悪化しており、企業規模による差が広がっている。
『非製造業』は、0.7ポイント改善の4.5であった。

規模別・・・『小規模企業』(従業員数10名以下)、『中小企業』(同11~100名)、『中堅企業』(同101名以上)いずれも改善した。

【参考】

地域別・・・『阪神地域』で建設業がけん引して7.3ポイント改善、『播磨地域』は8期連続改善と好調。

業種別・・・『運輸業』、『宿泊・飲食業』、『サービス業』が悪化したが、それ以外の業種は改善した。

(2) 今後3ヵ月 [2019年1月~3月]

全産業・・・先行きは、0.4ポイント改善の6.3を予想する。

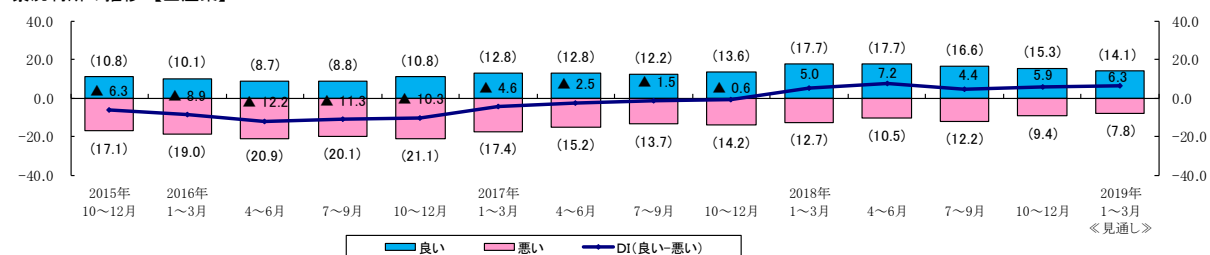
業種別・・・『製造業』は1.5ポイント改善、『非製造業』は横ばいを見込む。

規模別・・・『中小企業』は製造業、非製造業とも悪化、『小規模企業』と『中堅企業』は改善を見込んでいる。

項目	「良い」-「悪い」				
	2018年 1~3月	2018年 4~6月	2018年 7~9月	2018年 10~12月	2019年 1~3月 《見通し》
全産業	5.0	7.2	4.4	5.9	6.3
小規模企業	▲2.9	3.4	▲2.7	▲0.9	0.6
中小企業	6.7	6.2	5.1	7.2	6.2
中堅企業	11.1	17.6	12.0	12.3	17.2
製造業	8.4	8.8	5.9	9.6	11.1
小規模企業	0.0	▲7.9	▲8.3	▲10.7	7.1
中小企業	6.5	6.4	4.5	8.4	6.9
中堅企業	16.5	24.1	13.7	20.9	25.0
非製造業	3.8	6.8	3.8	4.5	4.5
小規模企業	▲3.1	4.8	▲2.2	0.0	0.0
中小企業	6.9	6.1	5.3	6.8	5.9
中堅企業	7.6	13.5	10.9	6.6	11.9

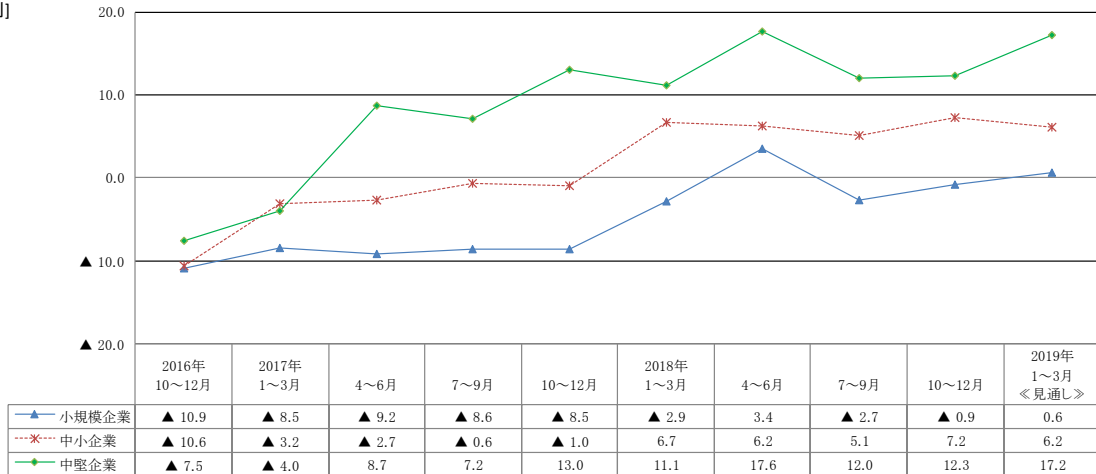
項目	「良い」-「悪い」					
	2018年 1~3月	2018年 4~6月	2018年 7~9月	2018年 10~12月	2019年 1~3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	8.1	12.1	5.6	4.2	5.6
	阪神地域	4.7	7.4	3.9	11.2	10.5
	播磨地域	3.8	5.5	7.6	8.3	7.9
	但馬・丹波地域	4.9	4.0	▲3.0	▲8.8	▲7.0
	淡路地域	▲1.2	▲6.2	▲10.4	▲9.2	▲5.2
	製造業	8.4	8.8	5.9	9.6	11.1
業種別 非製造業	建設業	20.6	19.7	10.6	13.3	11.4
	卸売業	0.0	3.3	▲0.4	0.0	0.0
	小売業	▲12.0	▲10.4	▲1.2	0.0	▲3.1
	不動産業	1.8	4.3	2.2	5.6	4.6
	運輸業	4.8	13.3	11.3	1.5	6.1
	宿泊・飲食業	▲7.1	▲16.7	0.0	▲4.2	20.8
	医療・福祉	2.7	12.5	0.0	2.4	7.3
	サービス業	2.0	7.9	1.7	0.9	▲1.8
その他	0.0	▲2.4	6.5	6.4	10.6	

景況判断の推移【全産業】

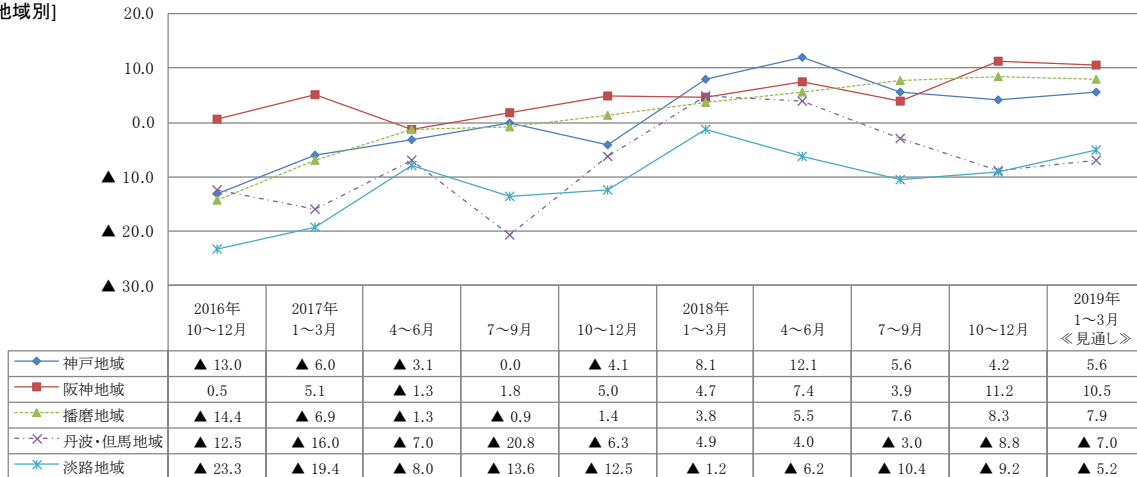


景況判断の推移明細

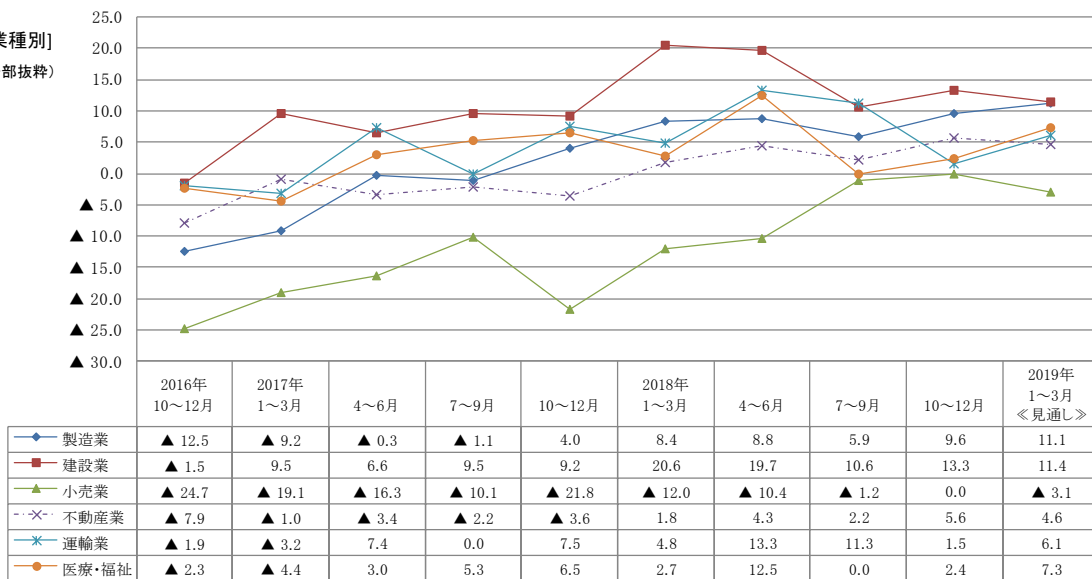
[規模別]



[地域別]



[業種別]
(一部抜粋)



2. 売上高判断

(1) 最近3ヵ月 [2018年10月~12月]

全産業・・・最近3ヵ月の売上高判断DI(「増加」-「減少」)は、販売単価が悪化したが、販売数量は改善し、全体では0.6ポイント改善の17.1であった。

業種別・・・『製造業』は1.6ポイント改善の19.8、『非製造業』は0.2ポイント改善の16.1であった。いずれも販売数量が改善し、販売単価は悪化した。

【参考】

地域別・・・『淡路地域』が7.1となり、3四半期ぶりに全地域の判断指数がプラスとなった。

業種別・・・『小売業』、『運輸業』、『宿泊・飲食業』が大幅に悪化した。『卸売業』、『不動産業』、『医療・福祉』などが堅調であった。

(2) 今後3ヵ月 [2019年1月~3月]

全産業・・・先行きは、小幅に悪化(0.4ポイント)し、16.7になると予想している。

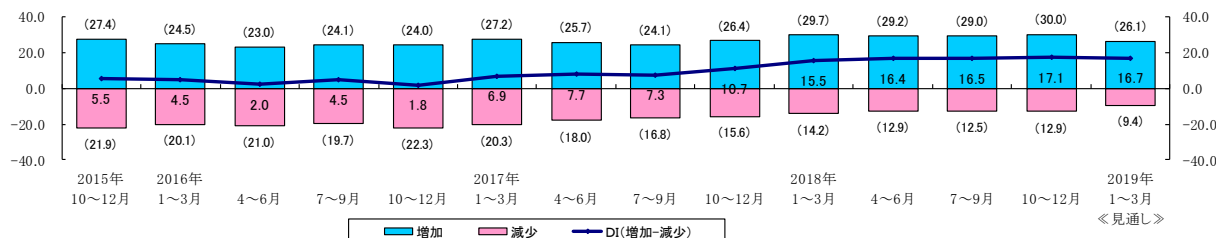
業種別・・・『製造業』は1.1ポイント改善の20.9、『非製造業』は1.1ポイント悪化の15.0を見込む。

項目	「前年同期比」				
	2018年 1~3月	2018年 4~6月	2018年 7~9月	2018年 10~12月	2019年 1~3月 《見通し》
全産業	15.5	16.4	16.5	17.1	16.7
販売数量	12.7	14.1	13.6	15.1	15.4
小規模企業	1.0	11.6	3.6	7.7	9.9
中小企業	15.0	12.4	14.6	17.8	16.6
中堅企業	22.4	24.5	24.1	16.8	19.5
販売単価	7.8	6.8	7.7	5.4	5.7
小規模企業	6.0	5.5	7.3	4.3	3.4
中小企業	9.8	6.9	6.7	6.3	6.1
中堅企業	3.6	8.0	12.1	5.4	8.6
製造業	23.7	16.7	18.2	19.8	20.9
販売数量	23.0	15.9	16.4	18.5	20.6
販売単価	6.1	5.4	7.5	4.2	6.3
非製造業	12.4	16.4	15.9	16.1	15.0
販売数量	8.7	13.6	12.4	13.7	13.2
販売単価	8.6	7.3	7.8	5.9	5.3

項目	「増加」-「減少」, 「上昇」-「低下」					
	2018年 1~3月	2018年 4~6月	2018年 7~9月	2018年 10~12月	2019年 1~3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	22.9	21.6	17.7	22.4	20.3
	阪神地域	9.1	17.4	21.1	18.9	17.3
	播磨地域	17.5	14.5	16.9	14.7	17.7
	但馬・丹波地域	0.0	14.0	11.9	0.0	▲1.8
	淡路地域	3.7	▲2.5	▲5.3	7.1	4.2
業種別	製造業	23.7	16.7	18.2	19.8	20.9
	建設業	22.4	26.4	21.1	20.8	16.4
	卸売業	11.0	14.0	9.7	23.9	20.4
	小売業	4.0	2.7	22.1	3.1	11.2
	不動産業	7.9	14.7	14.9	15.2	13.3
	運輸業	19.4	20.0	25.8	5.9	6.0
	宿泊・飲食業	0.0	▲33.3	0.0	▲12.5	17.4
	医療・福祉	5.4	20.8	19.6	24.4	29.3
	サービス業	13.3	19.8	16.5	13.6	2.8
	その他	10.9	11.9	6.5	17.4	28.3

※2018年1~3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生」→「医療・福祉」

売上高判断の推移【全産業】



3. 経常利益判断

(1) 最近3ヵ月 [2018年10月~12月]

全産業・・・最近3ヵ月の経常利益判断DI(「増加」-「減少」)は、10.2と0.8ポイント悪化した。

業種別・・・『製造業』は0.9ポイント改善の12.9、『非製造業』は1.5ポイント悪化の9.2となった。
『製造業』、『非製造業』とも中堅企業が大幅に悪化した。

規模別・・・『中小企業』は1.4ポイント改善したが、『中堅企業』は8.4ポイントと大幅に悪化し、『小規模企業』も0.5ポイント悪化した。

【参考】

地域別・・・淡路地域は製造、卸売業がけん引して大幅に(15.4ポイント)改善したが、他の4地域は悪化した。

業種別・・・『建設業』、『小売業』、『宿泊・飲食業』、『サービス業』が悪化、他は改善した。

(2) 今後3ヵ月 [2019年1月~3月]

全産業・・・先行きは、0.6ポイント悪化の9.6を見込む。

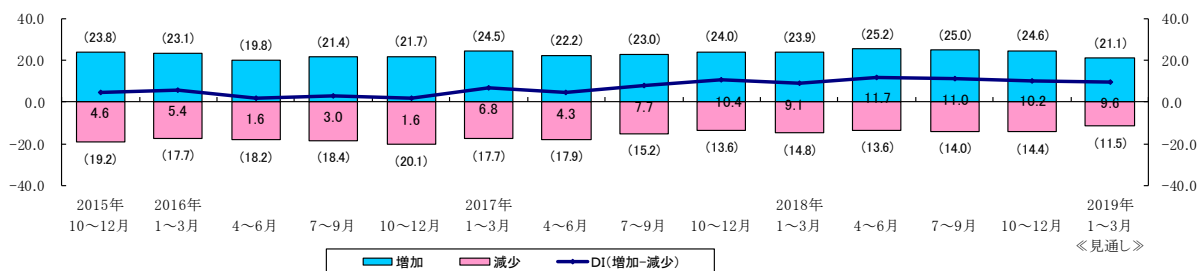
業種別・・・『製造業』が0.5ポイント悪化の12.4、『非製造業』は0.9ポイント悪化の8.3といずれも悪化すると予想している。

規模別・・・『小規模企業』は1.6ポイント悪化、『中小企業』は1.4ポイント悪化といずれも悪化を見込むが、『中堅企業』は4.1ポイント改善すると見ている。

項目	2018年 1~3月	2018年 4~6月	2018年 7~9月	2018年 10~12月	2019年 1~3月 《見通し》
全産業	9.1	11.7	11.0	10.2	9.6
小規模企業	3.9	11.2	5.0	4.5	2.9
中小企業	11.4	9.1	11.2	12.6	11.2
中堅企業	8.6	22.0	19.0	10.6	14.7
製造業	13.6	13.0	12.0	12.9	12.4
小規模企業	10.0	10.5	0.0	3.6	7.1
中小企業	13.8	10.2	9.0	13.3	11.4
中堅企業	13.9	22.5	24.2	15.2	19.8
非製造業	7.3	11.3	10.7	9.2	8.3
小規模企業	3.5	11.3	5.8	4.6	2.5
中小企業	10.1	8.6	12.2	12.4	11.2
中堅企業	5.0	21.6	15.4	7.4	11.3

項目	2018年 1~3月	2018年 4~6月	2018年 7~9月	2018年 10~12月	2019年 1~3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	13.5	15.1	16.2	14.3	10.8
	阪神地域	7.5	14.1	15.4	11.9	12.9
	播磨地域	8.5	11.7	7.2	6.8	9.7
	但馬・丹波地域	17.5	2.0	0.0	▲8.8	▲8.8
	淡路地域	▲7.4	▲9.9	▲3.2	12.2	2.1
業種別	製造業	13.6	13.0	12.0	12.9	12.4
	建設業	18.3	21.8	17.5	12.8	9.5
	卸売業	8.5	6.2	6.6	8.5	6.2
	小売業	▲8.0	▲5.2	9.3	▲2.0	0.0
	不動産業	5.5	13.1	8.8	13.2	11.3
	運輸業	0.0	13.8	0.0	0.0	3.0
	宿泊・飲食業	▲7.1	▲33.3	▲3.8	▲8.7	16.7
	医療・福祉	8.1	25.0	20.0	22.0	24.4
	サービス業	5.2	14.9	21.7	7.3	1.9
	その他	10.9	0.0	▲3.3	17.0	21.7

経常利益判断の推移【全産業】



※2018年1~3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生」→「医療・福祉」

4. 仕入価格判断

(1) 最近3ヵ月 [2018年10月~12月]

全産業・・・最近3ヵ月の仕入価格判断DI(「上昇」-「低下」)は24.7と3.4ポイント上昇した。「上昇」は4社に1社にのぼる(「上昇」26.5%、「変わらず」71.8%、「低下」1.7%)。

業種別・・・『製造業』は5.4ポイント上昇の29.7、『非製造業』は3.0ポイント上昇の22.9といずれも上昇した。中でも小規模製造業は39.3となり、前回調査とは一転して22.6ポイントも上昇した。

規模別・・・『小規模企業』、『中小企業』、『中堅企業』のいずれも上昇した。

【参考】

地域別・・・『但馬・丹波地域』が40.7となり、大幅に上昇した(14.9ポイント)。

業種別・・・『宿泊・飲食業』が大幅に低下(13.4ポイント)したほか、『不動産業』と『医療・福祉』が小幅低下したが、他は上昇した。

(2) 今後3ヵ月 [2019年1月~3月]

全産業・・・先行きは、2.7ポイント低下の22.0と予想している。

業種別・・・『製造業』は4.0ポイント低下の25.7、『非製造業』は2.2ポイント低下の20.7を見込む。

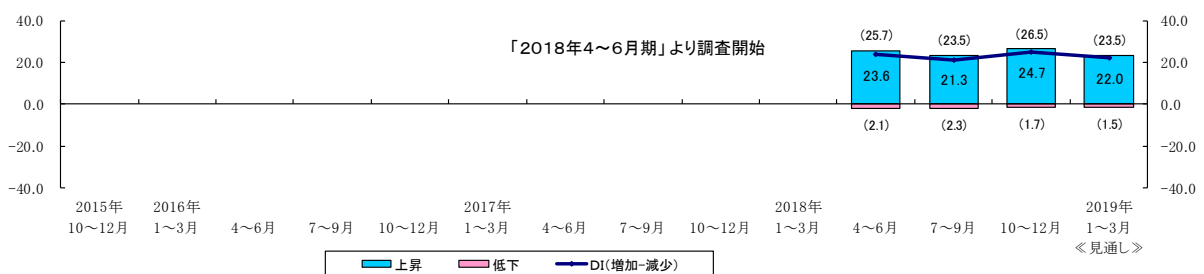
規模別・・・『小規模企業』は2.1ポイント低下、『中小企業』は3.6ポイント低下、『中堅企業』は0.7ポイント低下といずれも低下すると見ている。

項目	2018年 1~3月	2018年 4~6月	2018年 7~9月	2018年 10~12月	2019年 1~3月 《見通し》
全産業	—	23.6	21.3	24.7	22.0
小規模企業	—	25.9	22.1	23.3	21.2
中小企業	—	23.5	21.5	25.4	21.8
中堅企業	—	20.3	19.0	25.3	24.6
製造業	—	25.2	24.3	29.7	25.7
小規模企業	—	28.9	16.7	39.3	29.6
中小企業	—	26.8	25.3	29.3	25.2
中堅企業	—	18.8	23.2	28.3	26.1
非製造業	—	23.1	19.9	22.9	20.7
小規模企業	—	25.5	22.3	21.9	20.5
中小企業	—	22.0	19.6	23.7	20.3
中堅企業	—	21.3	16.0	23.3	23.5

項目	2018年 1~3月	2018年 4~6月	2018年 7~9月	2018年 10~12月	2019年 1~3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	—	23.5	16.9	23.6	22.1
	阪神地域	—	23.3	25.9	20.5	18.0
	播磨地域	—	21.6	20.0	27.2	24.6
	但馬・丹波地域	—	30.0	25.8	40.7	30.9
	淡路地域	—	31.6	28.7	24.5	18.3
業種別	製造業	—	25.2	24.3	29.7	25.7
	建設業	—	30.3	20.4	27.8	26.0
	卸売業	—	26.4	24.8	29.9	26.8
	小売業	—	20.8	22.4	27.6	22.7
	不動産業	—	20.8	17.9	17.3	18.1
	運輸業	—	29.1	27.3	29.7	22.6
	宿泊・飲食業	—	8.3	30.8	17.4	16.7
	医療・福祉	—	6.8	4.8	2.6	5.1
	サービス業	—	15.8	12.5	15.1	10.5
	その他	—	15.0	15.3	8.9	8.9

※2018年1~3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生」→「医療・福祉」

仕入価格判断の推移【全産業】



5. 生産判断（製造業のみ）

(1) 最近3ヵ月〔2018年10月～12月〕

全体……最近3ヵ月の生産判断DI(「増加」-「減少」)は2.4ポイント上昇の23.5で、「増加」は3社に1社の割合(「増加」31.6%、「変わらず」60.3%、「減少」8.1%)。

規模別……『小規模企業』が8.3ポイント上昇、『中小企業』が4.3ポイント上昇といずれも上昇したのに対し、『中堅企業』は2.3ポイント低下した。

【参考】

地域別……『神戸地域』のみ大幅(15.1ポイント)に上昇し、他は小幅低下もしくは横ばいだった。

(2) 今後3ヵ月〔2019年1月～3月〕

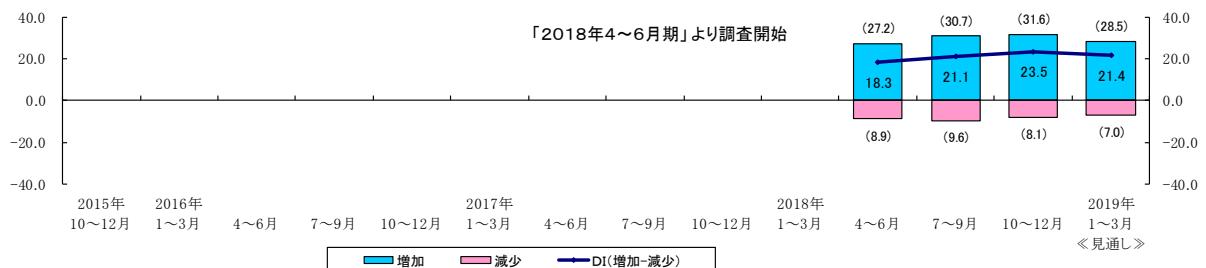
全体……先行きは、21.4と2.1ポイントの低下を見込む

規模別……『小規模企業』は上昇、『中小企業』と『中堅企業』は低下を見込む。

項目	前年同期比				「増加」-「減少」	
	2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月	2018年 10～12月	2019年 1～3月 《見通し》	
製造業	—	18.3	21.1	23.5	21.4	
小規模企業	—	2.8	0.0	8.3	16.7	
中小企業	—	17.4	19.0	23.3	19.4	
中堅企業	—	28.2	32.6	30.3	29.2	

地域別	項目	「増加」-「減少」				
		2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月	2018年 10～12月	2019年 1～3月 《見通し》
地域別	神戸地域	—	32.9	11.7	26.8	23.3
	阪神地域	—	13.0	29.1	24.0	17.6
	播磨地域	—	15.4	23.0	22.2	22.6
	但馬・丹波地域	—	19.0	26.1	26.1	13.0
	淡路地域	—	0.0	20.0	19.0	14.3

生産判断の推移【製造業】



6. 在庫判断

(1) 最近3ヵ月 [2018年10月~12月]

- 全産業・・・9割を超える企業が「適正」と判断している(「適正」92.9%、「不足」3.2%、「過剰」3.9%)。
最近3ヵ月の在庫判断DI(「不足」-「過剰」)は、前期比横ばいの▲0.7と少し過剰感がある。
- 業種別・・・『製造業』は過剰感が3.1ポイント弱まり▲1.8、『非製造業』は▲0.3となり不足から過剰に転じた。
- 規模別・・・『小規模企業』は0.6で不足、『中小企業』は▲1.3で過剰、『中堅企業』は▲0.5で過剰と判断している。

【参考】

- 地域別・・・『但馬・丹波地域』は0.0となり、過剰から過不足なしに転じた。一方、『淡路地域』は▲1.1と不足から過剰に転じた。
- 業種別・・・『小売業』が▲8.2と少し過剰感がある。

(2) 今後3ヵ月 [2019年1月~3月]

- 全産業・・・先行きは、0.7となり、不足に転じると予想している。
- 業種別・・・『製造業』は▲1.6と過剰が続き、『非製造業』は1.7と過剰から不足に転じると見ている。
- 規模別・・・『小規模企業』と『中堅企業』は不足、『中小企業』は過不足なしと予想している。

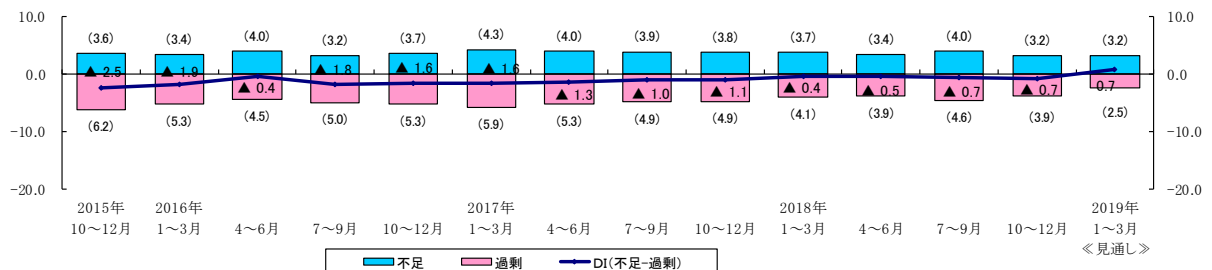
「不足」-「過剰」

項目	2018年 1~3月	2018年 4~6月	2018年 7~9月	2018年 10~12月	2019年 1~3月 《見通し》
全産業	▲0.4	▲0.5	▲0.7	▲0.7	0.7
小規模企業	2.3	2.9	2.8	0.6	3.0
中小企業	▲1.2	▲2.1	▲1.9	▲1.3	0.0
中堅企業	▲1.6	▲0.5	▲0.9	▲0.5	0.5
製造業	▲4.0	▲1.1	▲4.9	▲1.8	▲1.6
小規模企業	▲4.8	5.3	▲8.3	0.0	0.0
中小企業	▲2.8	▲1.7	▲4.2	▲1.9	▲1.9
中堅企業	▲7.5	▲2.5	▲6.3	▲1.1	0.0
非製造業	1.0	▲0.2	1.3	▲0.3	1.7
小規模企業	2.8	2.5	4.1	0.7	3.3
中小企業	▲0.4	▲2.3	▲0.7	▲1.0	1.0
中堅企業	2.7	0.9	3.4	0.0	0.8

【参考】 「不足」-「過剰」

項目	2018年 1~3月	2018年 4~6月	2018年 7~9月	2018年 10~12月	2019年 1~3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	▲1.4	▲1.9	▲1.9	▲0.7	0.5
	阪神地域	2.2	3.2	5.9	2.6	5.0
	播磨地域	▲0.7	▲3.1	▲4.0	▲3.4	▲2.1
	但馬・丹波地域	▲15.0	6.5	▲4.5	0.0	▲1.8
	淡路地域	2.6	1.3	1.1	▲1.1	1.1
業種別	製造業	▲4.0	▲1.1	▲4.9	▲1.8	▲1.6
	建設業	3.6	0.0	2.4	1.0	1.5
	卸売業	▲0.9	▲5.4	▲3.6	▲4.7	▲1.4
	小売業	▲9.3	▲6.5	▲2.4	▲8.2	▲3.1
不動産業	6.3	9.3	10.8	7.2	8.9	

在庫判断の推移【全産業】



7. 資金繰り判断

(1) 最近3ヵ月 [2018年10月～12月]

全産業・・・全体では「楽である」もしくは「普通」が大半(94.2%)を占め、「苦しい」はわずかである(「楽である」12.7%、「普通」81.5%、「苦しい」5.8%)。

最近3ヵ月の資金繰り判断DI(「楽である」-「苦しい」)は、6.9と0.2ポイント改善した。

業種別・・・『製造業』は小規模企業が大幅に(30.4ポイント)悪化し、全体では4.1ポイント悪化の5.7、『非製造業』は2.1ポイント改善の7.5となった。

規模別・・・『小規模企業』が0.7ポイント改善、『中小企業』が0.7ポイント改善、『中堅企業』が0.9ポイント改善といずれも改善した。

【参考】

地域別・・・『但馬・丹波地域』は11.5ポイント悪化の▲17.5と、同地域のみマイナス判断が続いており、他の地域と比べて資金繰りが厳しい企業が多い。

業種別・・・『建設業』、『医療・福祉』が悪化し、『卸売業』、『小売業』、『不動産業』など他は改善した。

(2) 今後3ヵ月 [2019年1月～3月]

全産業・・・先行きは、1.4ポイント悪化の5.5となる見通し。

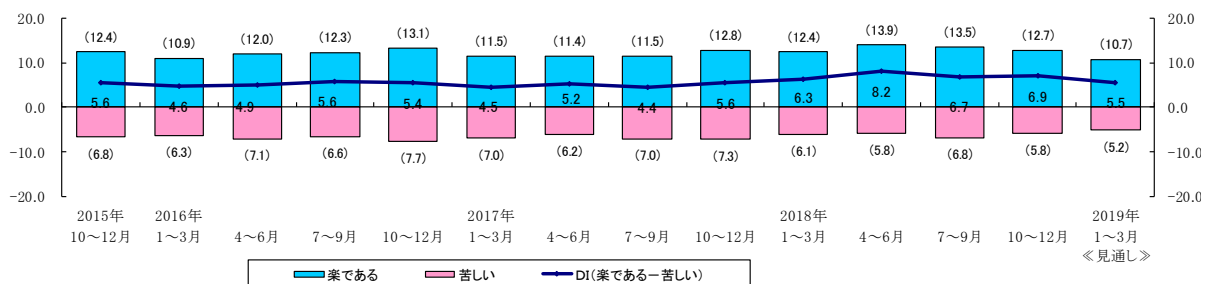
業種別・・・『製造業』は1.0ポイント悪化の4.7、『非製造業』は1.6ポイント悪化の5.9と、いずれも悪化を見込む。

規模別・・・『小規模企業』、『中小企業』、『中堅企業』のいずれも悪化すると予想している。

項目	2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月	2018年 10～12月	2019年 1～3月 《見通し》
全産業	6.3	8.2	6.7	6.9	5.5
小規模企業	1.6	2.0	▲1.8	▲1.1	▲3.8
中小企業	6.3	8.3	7.8	8.5	7.2
中堅企業	13.6	18.0	14.5	15.4	15.0
製造業	8.9	8.8	9.8	5.7	4.7
小規模企業	▲10.0	▲2.6	12.5	▲17.9	▲7.1
中小企業	6.9	5.9	6.6	4.5	2.7
中堅企業	20.0	22.5	18.9	17.6	15.4
非製造業	5.3	7.9	5.4	7.5	5.9
小規模企業	2.4	2.6	▲2.9	0.3	▲3.5
中小企業	6.1	9.4	8.4	10.3	9.3
中堅企業	9.2	15.1	11.5	14.0	14.7

項目	2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月	2018年 10～12月	2019年 1～3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	8.6	12.0	10.5	8.7	7.7
	阪神地域	4.7	3.7	4.0	6.7	4.2
	播磨地域	7.3	9.6	8.1	6.8	6.2
	但馬・丹波地域	▲7.3	▲2.0	▲6.0	▲17.5	▲12.3
	淡路地域	3.7	6.3	2.1	14.3	7.2
業種別	製造業	8.9	8.8	9.8	5.7	4.7
	建設業	11.8	17.6	13.2	12.9	11.0
	卸売業	4.2	7.8	5.7	8.0	7.6
	小売業	2.7	▲2.6	▲3.5	5.1	1.0
	不動産業	6.7	6.1	2.2	5.1	3.1
	運輸業	3.3	6.7	4.8	7.4	6.0
	宿泊・飲食業	7.1	▲27.3	▲11.5	▲8.7	▲4.3
	医療・福祉	0.0	▲2.1	4.3	▲7.3	▲4.9
	サービス業	1.0	4.0	1.7	2.8	0.9
その他	2.2	23.8	12.9	25.5	21.3	

資金繰り判断の推移【全産業】



※2018年1～3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生」→「医療・福祉」

8. 雇用判断

(1) 最近3ヵ月 [2018年10月~12月]

全産業・・・最近3ヵ月の雇用判断DI(「不足」-「過剰」)は、0.4ポイント低下の25.5と、不足感の強い状況が続いている。

業種別・・・『製造業』は0.2ポイント上昇の28.2、『非製造業』は0.5ポイント低下の24.6となった。

規模別・・・『小規模企業』は13.7、『中小企業』は28.4、『中堅企業』は34.6となっており、規模が大きい企業ほど不足感が強い。

【参考】

地域別・・・『淡路地域』が3.4ポイント上昇の38.8となり、前期に続いて不足感は過去最高を更新した。

業種別・・・『建設業』では4割超が「不足」としており、受注を調整する動きがある。

(2) 今後3ヵ月 [2019年1月~3月]

全産業・・・先行きは、24.4と1.1ポイント低下の予想であるが、不足感の水準は高い。

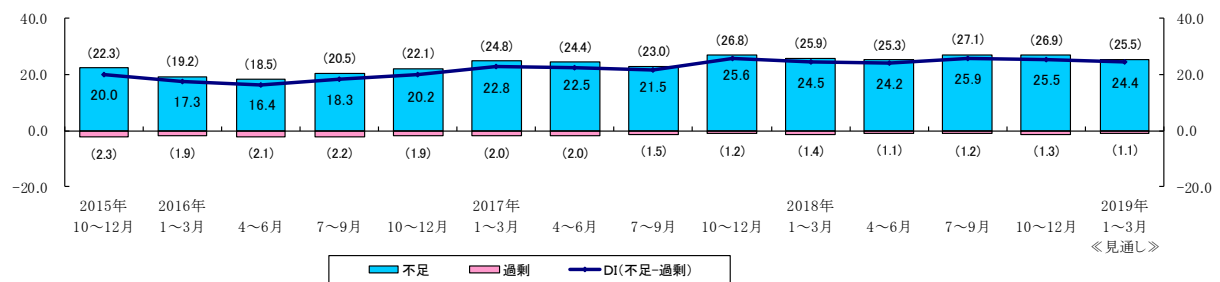
業種別・・・『製造業』は2.3ポイント低下の25.9、『非製造業』は0.8ポイント低下の23.8といずれも不足感の低下を予想している。

規模別・・・『小規模企業』は不足感が強まり、『中小企業』と『中堅企業』は弱まると見ている。

項目	2018年 1~3月	2018年 4~6月	2018年 7~9月	2018年 10~12月	2019年 1~3月 《見通し》
全産業	24.5	24.2	25.9	25.5	24.4
小規模企業	7.4	17.8	16.5	13.7	13.9
中小企業	27.1	25.0	28.2	28.4	26.6
中堅企業	41.2	31.6	31.2	34.6	33.3
製造業	28.4	25.1	28.0	28.2	25.9
小規模企業	14.3	31.6	16.7	14.3	17.9
中小企業	25.9	22.5	26.7	29.3	26.0
中堅企業	40.0	30.0	34.7	29.3	28.3
非製造業	23.0	23.9	25.1	24.6	23.8
小規模企業	6.9	16.1	16.6	13.6	13.5
中小企業	27.7	26.2	28.9	28.0	27.0
中堅企業	42.0	32.5	28.8	38.2	36.8

項目	2018年 1~3月	2018年 4~6月	2018年 7~9月	2018年 10~12月	2019年 1~3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	23.4	23.3	21.3	23.4	22.6
	阪神地域	13.2	23.1	29.4	23.1	20.9
	播磨地域	32.3	22.7	24.2	27.0	26.8
	但馬・丹波地域	31.7	46.0	32.8	22.8	19.3
	淡路地域	29.6	27.5	35.4	38.8	37.1
業種別	製造業	28.4	25.1	28.0	28.2	25.9
	建設業	38.5	40.4	44.0	40.3	39.1
	卸売業	13.6	15.6	13.2	16.0	11.8
	小売業	14.7	19.5	25.9	18.4	18.6
	不動産業	4.9	7.1	9.4	9.6	10.2
	運輸業	40.3	45.0	40.3	30.9	31.3
	宿泊・飲食業	64.3	18.2	38.5	34.8	39.1
	医療・福祉	24.3	41.7	27.7	41.5	43.9
	サービス業	38.8	25.7	22.6	30.3	29.4
	その他	21.7	23.8	27.4	21.3	25.5

雇用判断の推移【全産業】



※2018年1~3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生」→「医療・福祉」

9. 設備投資判断

(1) 最近3ヵ月 [2018年10月~12月]

全産業・・・最近3ヵ月の設備投資判断DI(「増加」-「減少」)は、『全産業』の判断は1.3ポイント上昇の8.5であったが、小規模製造業の低下が目立った。

業種別・・・『製造業』は小規模企業が7.8ポイント低下と目立ったが、全体では1.6ポイント上昇の13.4となった。

『非製造業』は6.6と1.2ポイント上昇した。『非製造業』には事業所新設、新事業参入等のための投資を行った企業がある。

規模別・・・『小規模企業』が0.8ポイント上昇、『中小企業』が0.9ポイント上昇、『中堅企業』が4.3ポイント上昇と、いずれも上昇した。

【参考】

地域別・・・『神戸地域』、『播磨地域』、『淡路地域』が上昇し、『阪神地域』、『但馬・丹波地域』が低下した。

業種別・・・『運輸業』と『宿泊・飲食業』が低下したのを除き、他の業種は上昇した。

(2) 今後3ヵ月 [2019年1月~3月]

全産業・・・先行きは、1.2ポイント低下の7.3を見込む。

業種別・・・『製造業』は3.0ポイント低下の10.4、『非製造業』は0.5ポイント低下の6.1を予想している。

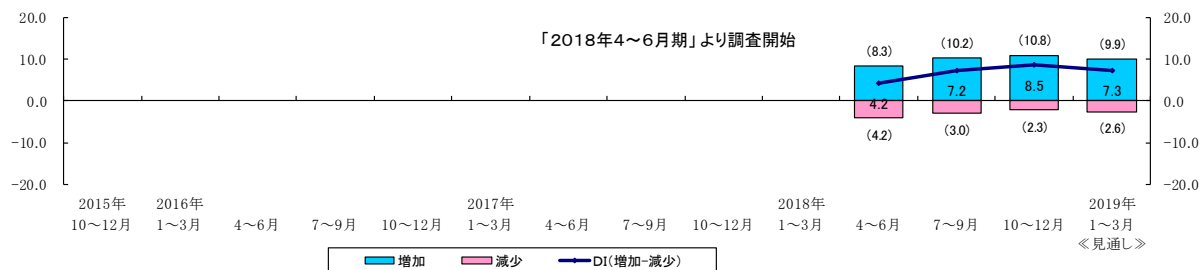
規模別・・・『小規模企業』は0.3ポイント、『中小企業』は2.9ポイントといずれも低下を見込むが、『中堅企業』は3.1ポイントの上昇を予想している。

(前年同期比)		「増加」-「減少」				
項目	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月 《見通し》	
全産業	—	4.2	7.2	8.5	7.3	
小規模企業	—	0.0	2.4	3.2	2.9	
中小企業	—	4.8	8.6	9.5	6.6	
中堅企業	—	8.8	9.3	13.6	16.7	
製造業	—	10.2	11.8	13.4	10.4	
小規模企業	—	▲2.6	4.2	▲3.6	▲3.6	
中小企業	—	12.3	11.8	14.4	9.9	
中堅企業	—	10.0	13.7	16.3	16.3	
非製造業	—	1.9	5.4	6.6	6.1	
小規模企業	—	0.3	2.3	3.8	3.5	
中小企業	—	1.4	7.0	7.2	5.0	
中堅企業	—	8.0	6.1	11.8	16.9	

【参考】		「増加」-「減少」				
項目	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	—	2.8	3.9	4.3	4.3
	阪神地域	—	2.9	9.9	9.3	6.9
	播磨地域	—	4.8	6.8	10.6	9.1
	但馬・丹波地域	—	10.0	13.4	8.8	5.3
	淡路地域	—	9.0	10.5	15.3	15.6
業種別	製造業	—	10.2	11.8	13.4	10.4
	建設業	—	▲1.6	6.2	6.7	4.6
	卸売業	—	▲1.7	2.2	2.8	2.4
	小売業	—	5.3	1.2	6.2	6.3
	不動産業	—	1.1	4.0	5.2	3.6
	運輸業	—	20.3	12.9	7.4	11.9
	宿泊・飲食業	—	0.0	11.5	9.1	18.2
	医療・福祉	—	2.1	8.9	22.0	26.8
	サービス業	—	2.0	9.0	9.1	6.5
	その他	—	9.8	4.8	8.7	6.5

※2018年1~3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生」→「医療・福祉」

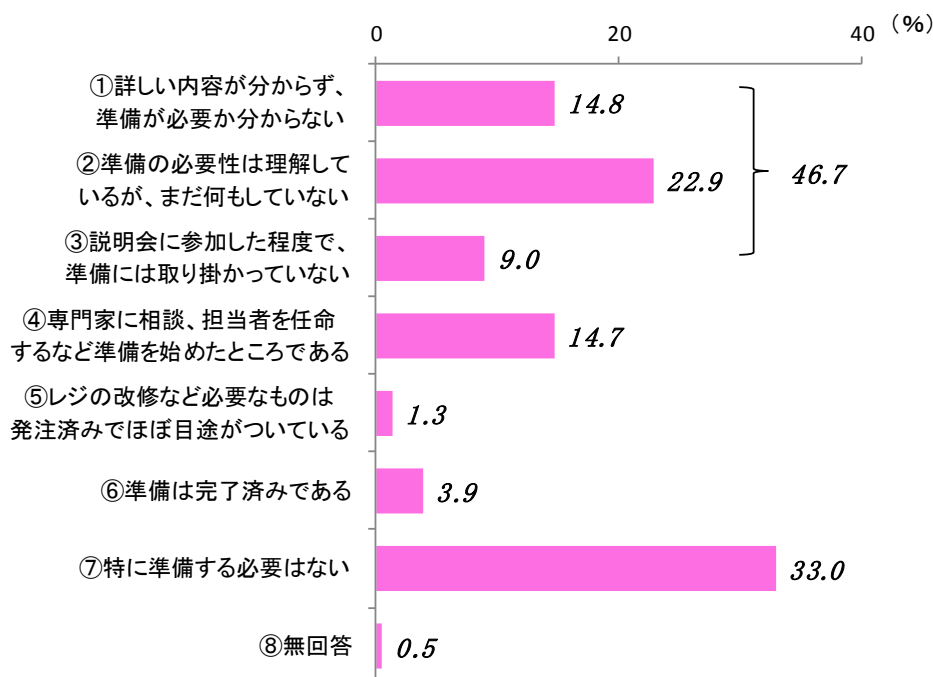
設備投資判断の推移【全産業】



◆ 消費税の軽減税率制度の準備状況について

(1) 軽減税率制度の準備状況

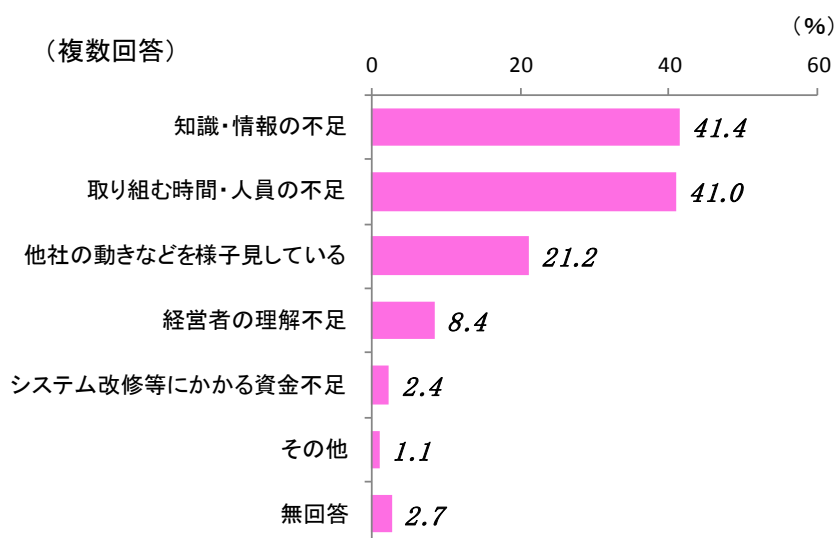
- ①「詳しい内容が分からず、準備が必要か分からない」(14.8%)、②「準備の必要性は理解しているが、まだ何もしていない」(22.9%)、③「説明会に参加した程度で、準備には取り掛かっていない」(9.0%)となっており、①～③を合計した「準備に取り掛かっていない」企業は46.7%と半数近くをのびた。
- 規模別では、「準備に取り掛かっていない」企業は中小企業が50.5%と半数を超える。また、小規模企業の45.9%は「特に準備する必要はない」と回答しており、中小企業の29.4%、中堅企業の26.3%と比べて多い。



	回答企業数(社)	①詳しい内容が分からず、準備が必要か分からない	②準備の必要性は理解しているが、まだ何もしていない	③説明会に参加した程度で、準備には取り掛かっていない	①+②+③準備に取り掛かっていない	④専門家に相談、担当者を任命するなど準備を始めたところである	⑤レジの改修など必要なものは発注済みで、ほぼ目途がついている	⑥準備は完了済みである	⑦特に準備する必要はない	
全産業	1,423	14.8	22.9	9.0	46.7	14.7	1.3	3.9	33.0	
規模別	小規模企業	353	17.8	19.5	4.0	41.3	10.5	0.3	1.4	45.9
	中小企業	816	15.1	24.9	10.5	50.5	14.5	1.7	3.4	29.4
	中堅企業	228	7.0	21.1	11.8	39.9	22.4	1.8	9.6	26.3
業種別	製造業	388	9.3	24.5	12.9	46.7	16.8	0.5	7.0	29.1
	非製造業	1,025	16.7	22.3	7.6	46.6	13.9	1.7	2.7	34.5

(2) 軽減税率に対する準備が進んでいない理由

- ・(1)で「準備に取り掛かっていない」企業664社に対して、その理由を尋ねたところ、「知識・情報の不足」が41.4%、「取り組む時間・人員の不足」が41.0%といずれも4割超を超える。以下、「他社の動きなどを様子見している」が21.2%、「経営者の理解不足」が8.4%と続く。
- ・規模別では、上位2項目に関して、小規模企業は「知識・情報の不足」が45.2%で最も多いが、中堅企業は「取り組む時間・人員の不足」が39.6%で最も多い。
- ・業種別では、非製造業は「知識・情報の不足」が45.6%で製造業(29.3%)に比べて多い。一方、製造業は「他社の動きなどを様子見している」が27.1%で非製造業(19.0%)より多い。



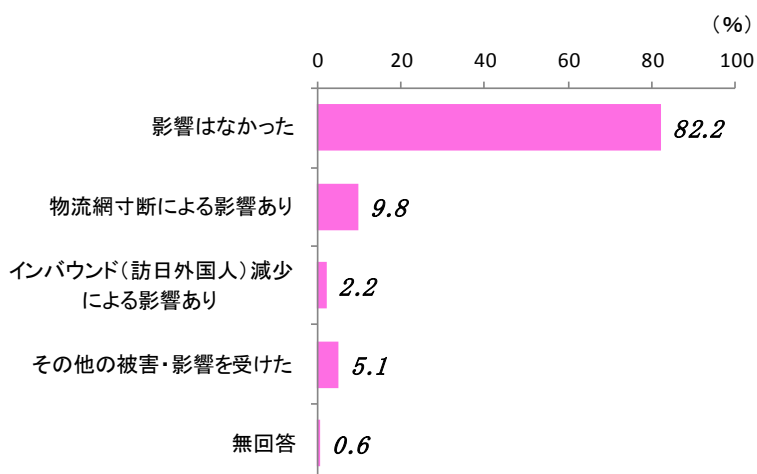
(複数回答) (%)

		回答企業数(社)	知識・情報の不足	取り組む時間・人員の不足	他社の動きなどを様子見している	経営者の理解不足	システム改修等にかかる資金不足	その他	無回答
全産業		664	41.4	41.0	21.2	8.4	2.4	1.1	2.7
規模別	小規模企業	146	45.2	38.4	17.1	9.6	3.4	1.4	1.4
	中小企業	412	41.7	41.7	22.1	9.5	1.9	1.0	2.7
	中堅企業	91	34.1	39.6	23.1	2.2	3.3	1.1	5.5
業種別	製造業	181	29.3	40.3	27.1	5.0	3.3	1.7	3.9
	非製造業	478	45.6	41.0	19.0	9.8	2.1	0.8	2.3

◆ 台風21号による関西国際空港閉鎖等の影響について

(1) 台風21号の影響

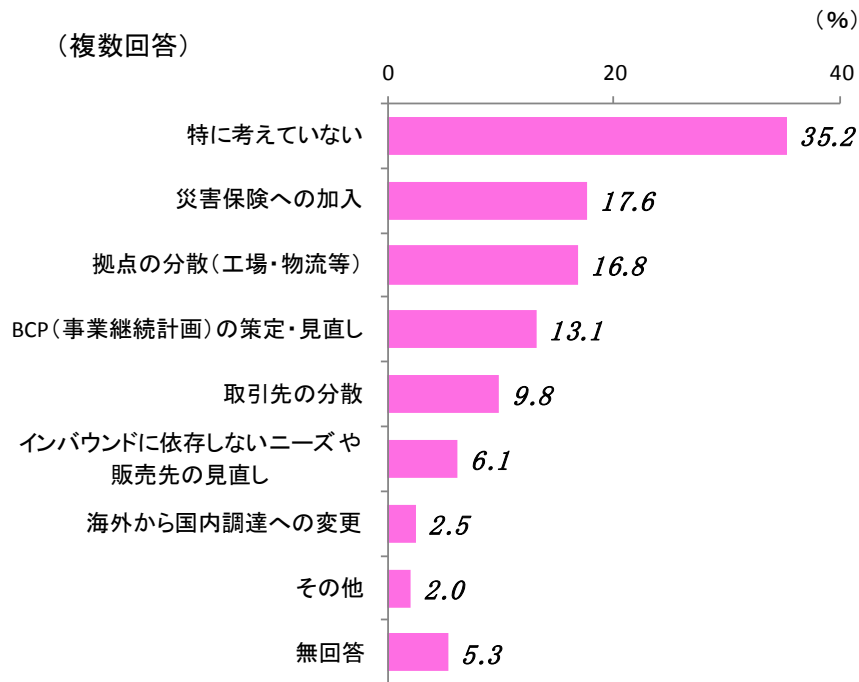
- ・「影響はなかった」が82.2%と大半を占めた。以下、「物流寸断による影響あり」が9.8%、「インバウンド（訪日外国人）減少による影響あり」が2.2%、「その他の被害・影響を受けた」が5.1%となっており、「何らかの影響を受けた」企業は17.1%であった。
- ・規模別では、「影響はなかった」とする企業は、小規模企業が85.3%、中小企業が81.9%、中堅企業が78.5%となっており、規模の小さい企業ほど多い。



		回答 企業数 (社)	影響は なかった	物流網寸断 による影響 あり	インバウンド (訪日外国 人)減少に よる影響あり	その他の 被害・影響 を受けた	無回答	合計
全産業		1,423	82.2	9.8	2.2	5.1	0.6	100.0
規模別	小規模企業	353	85.3	7.1	1.7	5.9	0.0	100.0
	中小企業	816	81.9	11.2	1.8	4.2	1.0	100.0
	中堅企業	228	78.5	9.2	4.8	7.5	0.0	100.0
業種別	製造業	388	81.7	12.9	1.8	3.1	0.5	100.0
	非製造業	1,025	82.3	8.7	2.4	6.0	0.6	100.0

(2) 台風21号の被害を受けた企業の今後の対策

- ・「何らかの影響を受けた」企業 244 社に対して、今後の対策を尋ねたところ、全般的に影響が小さかったこともあり、「特に考えていない」が 35.2%で最も多く、以下、「災害保険への加入」が 17.6%、「拠点の分散（工場・物流等）」が 16.8%、「BCP（事業継続計画）の策定・見直し」が 13.1%などとなっている。
- ・規模別では、小規模企業は「特に考えていない」が 42.3%で、中堅企業（32.7%）と比べて多く、中堅企業は「拠点の分散（工場・物流等）」が 24.5%と小規模企業（9.6%）より多い。



(複数回答) (%)

	回答企業数(社)	特に考えていない	災害保険への加入	拠点の分散(工場・物流等)	BCP(事業継続計画)の策定・見直し	取引先の分散	インバウンドに依存しないニーズや販売先の見直し	海外から国内調達への変更	その他	無回答	
全産業	244	35.2	17.6	16.8	13.1	9.8	6.1	2.5	2.0	5.3	
規模別	小規模企業	52	42.3	11.5	9.6	15.4	13.5	3.8	1.9	0.0	9.6
	中小企業	140	33.6	21.4	17.1	15.0	9.3	6.4	1.4	1.4	4.3
	中堅企業	49	32.7	12.2	24.5	6.1	8.2	8.2	6.1	6.1	2.0
業種別	製造業	69	27.5	20.3	29.0	10.1	10.1	8.7	5.8	1.4	1.4
	非製造業	175	38.3	16.6	12.0	14.3	9.7	5.1	1.1	2.3	6.9

◆ トピックス

— 2019年を表す漢字 —

・「2019年はどのような年にしたいか」を漢字1文字で表現してもらったところ、上位3つの「進」(58件)、「変」(49件)、「新」(48件)は、昨年と同じ順位で、以下、「挑」「昇」「躍」など業容の拡大を期待する漢字が並んだ。新しい時代を意識して、「改」が昨年の13位から大きく順位を上げた。

2019年を表す漢字

順位	漢字	件数
1	進	58
2	変	49
3	新	48
4	改	41
5	安	39
6	明	32
7	挑	21
	昇	21
	躍	21
	楽	21
11	飛	19
	良	19
13	堅	14
	成	14
15	動	13
	平	13
	伸	13
	増	13

〔参考〕 2018年を表す漢字

順位	漢字	件数
1	進	60
2	変	51
3	新	45
4	安	43
5	明	34
6	挑	32
7	躍	26
8	伸	25
	増	25
10	継	24
	飛	24
12	昇	22
13	改	20
14	楽	19
15	良	17

IV.【参考】業況判断の内訳明細

景況判断

DI = 「良い」 - 「悪い」

項目	2018年 1~3月				2018年 4~6月				2018年 7~9月				2018年 10~12月				2019年 1~3月 《見通し》			
	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI
全産業	17.7	69.7	12.7	5.0	17.7	71.8	10.5	7.2	16.6	71.2	12.2	4.4	15.3	75.2	9.4	5.9	14.1	78.1	7.8	6.3
小規模企業	9.0	79.0	11.9	▲2.9	11.5	80.5	8.0	3.4	10.7	76.0	13.3	▲2.7	9.4	80.4	10.2	▲0.9	8.0	84.5	7.5	0.6
中小企業	20.4	66.0	13.6	6.7	18.4	69.3	12.3	6.2	17.6	69.9	12.5	5.1	16.6	74.1	9.3	7.2	14.3	77.6	8.1	6.2
中堅企業	21.2	68.7	10.1	11.1	25.4	66.8	7.8	17.6	21.5	69.1	9.4	12.0	20.3	71.8	7.9	12.3	23.3	70.5	6.2	17.2
製造業	22.0	64.5	13.6	8.4	21.5	65.7	12.7	8.8	19.9	66.1	14.0	5.9	20.2	69.2	10.6	9.6	19.9	71.2	8.8	11.1
小規模企業	19.0	61.9	19.0	0.0	10.5	71.1	18.4	▲7.9	4.2	83.3	12.5	▲8.3	7.1	75.0	17.9	▲10.7	14.3	78.6	7.1	7.1
中小企業	20.3	65.9	13.8	6.5	19.5	67.4	13.1	6.4	19.4	65.6	14.9	4.5	18.6	71.1	10.3	8.4	16.4	74.0	9.5	6.9
中堅企業	27.8	60.8	11.4	16.5	32.9	58.2	8.9	24.1	25.3	63.2	11.6	13.7	29.7	61.5	8.8	20.9	32.6	59.8	7.6	25.0
非製造業	16.1	71.7	12.3	3.8	16.4	74.1	9.6	6.8	15.3	73.2	11.5	3.8	13.5	77.5	9.0	4.5	11.9	80.7	7.4	4.5
小規模企業	8.3	80.3	11.4	▲3.1	11.6	81.7	6.8	4.8	11.2	75.4	13.4	▲2.2	9.6	80.9	9.6	0.0	7.5	85.0	7.5	0.0
中小企業	20.4	66.1	13.5	6.9	18.0	70.1	11.9	6.1	16.7	72.0	11.3	5.3	15.7	75.3	9.0	6.8	13.4	79.1	7.5	5.9
中堅企業	16.8	73.9	9.2	7.6	20.6	72.2	7.1	13.5	18.8	73.2	8.0	10.9	14.0	78.7	7.4	6.6	17.0	77.8	5.2	11.9

※2018年1~3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生」→「医療・福祉」

項目	2018年 1~3月				2018年 4~6月				2018年 7~9月				2018年 10~12月				2019年 1~3月 《見通し》				
	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	
地域別	神戸地域	21.3	65.5	13.2	8.1	22.4	67.3	10.3	12.1	17.9	69.8	12.3	5.6	15.4	73.5	11.1	4.2	14.3	77.0	8.7	5.6
	阪神地域	12.9	79.0	8.2	4.7	16.0	75.4	8.6	7.4	15.8	72.4	11.8	3.9	17.0	77.1	5.9	11.2	15.0	80.5	4.5	10.5
	播磨地域	18.2	67.4	14.4	3.8	16.7	72.0	11.2	5.5	18.2	71.2	10.6	7.6	16.7	75.0	8.3	8.3	16.1	75.7	8.2	7.9
	但馬・丹波地域	22.0	61.0	17.1	4.9	10.0	84.0	6.0	4.0	9.0	79.1	11.9	▲3.0	7.0	77.2	15.8	▲8.8	8.8	75.4	15.8	▲7.0
	淡路地域	14.8	69.1	16.0	▲1.2	12.3	69.1	18.5	▲6.2	11.5	66.7	21.9	▲10.4	7.1	76.5	16.3	▲9.2	4.1	86.6	9.3	▲5.2
業種別	製造業	22.0	64.5	13.6	8.4	21.5	65.7	12.7	8.8	19.9	66.1	14.0	5.9	20.2	69.2	10.6	9.6	19.9	71.2	8.8	11.1
	建設業	25.9	68.8	5.3	20.6	24.4	71.0	4.7	19.7	18.5	73.6	7.9	10.6	19.5	74.3	6.2	13.3	15.9	79.5	4.5	11.4
	卸売業	17.4	65.3	17.4	0.0	17.2	68.9	13.9	3.3	15.4	68.9	15.8	▲0.4	13.6	72.8	13.6	0.0	11.4	77.3	11.4	0.0
	小売業	10.7	66.7	22.7	▲12.0	14.3	61.0	24.7	▲10.4	15.1	68.6	16.3	▲1.2	11.2	77.6	11.2	0.0	6.1	84.7	9.2	▲3.1
	不動産業	7.3	87.3	5.5	1.8	9.2	85.9	4.9	4.3	9.9	82.3	7.7	2.2	9.6	86.3	4.1	5.6	8.6	87.3	4.1	4.6
	運輸業	19.4	66.1	14.5	4.8	18.3	76.7	5.0	13.3	21.0	69.4	9.7	11.3	7.5	86.6	6.0	1.5	9.1	87.9	3.0	6.1
	宿泊・飲食業	14.3	64.3	21.4	▲7.1	0.0	83.3	16.7	▲16.7	11.5	76.9	11.5	0.0	12.5	70.8	16.7	▲4.2	20.8	79.2	0.0	20.8
	医療・福祉	8.1	86.5	5.4	2.7	14.6	83.3	2.1	12.5	6.5	87.0	6.5	0.0	12.2	78.0	9.8	2.4	14.6	78.0	7.3	7.3
	サービス業	14.3	73.5	12.2	2.0	15.8	76.2	7.9	7.9	17.4	67.0	15.7	1.7	12.7	75.5	11.8	0.9	11.0	76.1	12.8	▲1.8
	その他	19.6	60.9	19.6	0.0	14.6	68.3	17.1	▲2.4	17.7	71.0	11.3	6.5	17.0	72.3	10.6	6.4	21.3	68.1	10.6	10.6

【各種判断】

DI = 「増加」 - 「減少」、「不足」 - 「過剰」、「楽である」 - 「苦しい」

項目	2018年 1~3月				2018年 4~6月				2018年 7~9月				2018年 10~12月				2019年 1~3月 《見通し》			
	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI
売上高判断	29.7	56.1	14.2	15.5	29.2	57.9	12.9	16.4	29.0	58.5	12.5	16.5	30.0	57.0	12.9	17.1	26.1	64.5	9.4	16.7
経常利益判断	23.9	61.3	14.8	9.1	25.2	61.2	13.6	11.7	25.0	61.1	14.0	11.0	24.6	61.0	14.4	10.2	21.1	67.4	11.5	9.6
仕入価格判断	—	—	—	—	25.7	72.2	2.1	23.6	23.5	74.2	2.3	21.3	26.5	71.8	1.7	24.7	23.5	74.9	1.5	22.0
生産判断【製造業のみ】	—	—	—	—	27.2	63.9	8.9	18.3	30.7	59.6	9.6	21.1	31.6	60.3	8.1	23.5	28.5	64.5	7.0	21.4
在庫判断	3.7	92.2	4.1	▲0.4	3.4	92.7	3.9	▲0.5	4.0	91.4	4.6	▲0.7	3.2	92.9	3.9	▲0.7	3.2	94.3	2.5	0.7
資金繰り判断	12.4	81.5	6.1	6.3	13.9	80.3	5.8	8.2	13.5	79.7	6.8	6.7	12.7	81.5	5.8	6.9	10.7	84.1	5.2	5.5
雇用判断	25.9	72.8	1.4	24.5	25.3	73.6	1.1	24.2	27.1	71.7	1.2	25.9	26.9	71.8	1.3	25.5	25.5	73.3	1.1	24.4
設備投資判断	—	—	—	—	8.3	87.5	4.2	4.2	10.2	86.7	3.0	7.2	10.8	86.9	2.3	8.5	9.9	87.5	2.6	7.3